

岡山商科大学創立50周年記念式典・祝賀会



式次第

- | | |
|--------------|---------------|
| 一、式典 11時00分～ | 二、祝賀会 12時30分～ |
| 1 開式 | 1 開会 |
| 2 国歌斉唱 | 2 来賓祝辞 |
| 3 物故者に対する黙祷 | 3 鏡開き |
| 4 学長式辞 | 4 乾杯 |
| 5 経過報告 | 5 祝宴 |
| 6 来賓祝辞 | 6 閉会 |
| 7 感謝状贈呈 | |
| 8 祝電披露 | |
| 9 学歌斉唱 | |
| 10 閉式 | |

御祝辞をいただいた御来賓(敬称略)

- 式典
 - 衆議院議員 逢沢 一郎
 - 参議院議員 石井 正弘
 - 日本私立大学協会
 - 常務理事 小出 秀文
 - 公益財団法人日本高等教育評価機構
 - 常務理事 石井 正彦
 - 国立大学法人岡山大学
 - 学長 森田 潔
 - 岡山県副知事 足羽 憲治
 - 瀬戸内市長 武久 顕也
 - 一般社団法人岡山経済同友会
 - 代表幹事 萩原 邦章
 - 公益財団法人岡山県産業振興財団
 - 理事長 三宅 昇
- 祝賀会
 - 岡山理科大学 学長 波田 善夫
 - 岡山商科大学同窓会
 - 会長 田頭 敬康
 - 岡山商科大学後援会
 - 会長 川本 洋
 - 岡山商科大学
 - 在学生 代表 山本 大輔

感謝状贈呈者 (敬称略)

- 本学の発展に功労のあった方々
 - 浅野 益弘・岡崎 彬
 - 武田 修一・小見山厚巳
 - 赤井 克己
- 本学の教育に功労のあった方々 (名誉教授)
 - 土井 作治・岡嶋 隆三
 - 富永 悦夫・野本 晃史
 - 道行 助弘・大國 仁
 - 高井 薫・岡田 浄二
 - 橘 晋介・喜田栄次郎
 - 大城 裕二・ビュース ダウディン
 - 山下 隆資・堤 一浩
 - 鳥越 良光



岡山商科大学50周年記念式典・祝賀会は平成27年5月23日(土)に岡山プラザホテルにおいて開催されました。ご出席賜りました皆様、深く感謝申し上げます。

CONTENTS

<商大トピック>

- 創立50周年記念事業
- 大学機関別認証評価適合認定
- 二松學舎大学と協定

<情報アラカルト>

- 学食メニューの提案について
- 日本学生陸上で準優勝
- 防災用品の備蓄開始

商大 トピック

Topic 1

2014年度 大学機関別 認証評価において適合認定

2015.3.10

本学が2014年度、(公財)日本高等教育評価機構による大学機関別認証評価(第三者による外部評価)を受審したことは、前号でお知らせしました。このたび、同機構の定める大学評価基準に適合していることが2015年3月10日付で認定されましたので、ここにご報告いたします。



(総務企画課)

Topic 2

学位記授与式

2015.3.22

2015年3月22日(日)第47回学位記授与式が挙行されました。本学吹奏楽部と附属高等学校吹奏楽部の合同演奏による厳粛な音楽が流れる中、井尻学長や来賓から、お祝いの言葉が卒業生に贈られました。卒業生を代表して、経営学部経営学科の代々成美さんが、恩師や後輩そして両親への感謝の言葉を述べ、四年間勉学に勤しんだ学び舎をあとにしたのでした。



学位記授与者数	(名)
法学部法学科	43
経済学部経済学科	75
経営学部経営学科	119
経営学部商学科	90
商学研究科	5
法学研究科	2
経済学研究科	4

(総務企画課)

Topic 3

二松學舎大学との連携協定の締結

2015.3.30

二松學舎大学と本学の間で、2015年3月30日(月)大学間相互交流協定を締結しました。締結式には、二松學舎大学から渡辺和則学長、文学部江藤茂博文学部長、馬淵裕之大学改革推進課長、岡山商科大学から井尻昭夫学



(総務企画課)

長、大崎紘一副学長、三浦一男事務局長の出席のもと、協定書の調印が行われました。

本協定の締結を基に共同研究を開始することから、両大学間で共同研究覚書書を本学経営学川本和則学部長、二松學舎大学文学部江藤茂博学部長の間で取り交わしました。共同研究のテーマは、「ショッピングモールに関する商業、経営学、社会科学研究」であり、ショッピングモールがビジネス文化に与える影響について両大学の研究者が研究を行うものであります。本協定は、本学が他大学と研究を中心にして結び協定の第1号に位置付けられるものであります。

協定の締結と同時に、「ショッピングモールからみる現代社会とビジネス文化」(案)に関する著書出版のために、本学からは、三好宏教授、岡本輝代志教授、蒲和重准教授、大東正虎准教授、大石貴之講師の5名、二松學舎大学からは2名、他大学からは3名が共同研究者となり、平成27年度出版を目途に各専門分野での調査研究と執筆を行っています。

(副学長 大崎紘一)

Topic 4

入学宣誓式

2015.4.3

2015年4月3日(金)本学体育館において入学宣誓式が挙行されました。本学吹奏楽部と附属高等学校吹奏楽部の合同による演奏が、式に華やかな彩を添える中、井尻学長から学部、大学院など計548名の入学許可が宣言されました。新入生を代表して、経営学部経営学科の田邊帆波さんが学生生活への決意を宣誓し、商大での新生活がスタートしました。

(総務企画課)

Topic 5

2015年度・岡山経営者論について

2015.4.20

2015年4月から(一社)岡山経済同友会のご協力のもと、岡山経営者論を開講しています。1996年から始まった本講義も20年目を迎え、「アクティブラーニング」という新しい教育形式での講義が開始されています。この新しい教育形式は、提示された課題に対してグループ内で討論し、まとめ、そして発表までを行うことで、集団での問題解決能力や発表力の修得を目的としたものです。

2015年度前期は、両備ホールディングス(株)代表取締役社長・松田久氏、(株)環光代表取締役社長・吉田縉史氏、小倉産業(株)代表取締役社長・富山明寿氏、(株)リプロ代表取締役社長・岡田謙吾氏、丸正製粉(株)代表取締役社長・榎本健太郎氏、蜂谷工業(株)代表取締役社長・蜂谷泰祐氏にご登壇いただきました。後期では、畠山製菓(株)代表取締役社長・畠山敏雄氏、キミセ醤油(株)代表取締役社長・永原琢朗氏、梶原乳業(株)代表取締役社長・梶原康彦氏、カモ井加工紙(株)代表取締役社長・鴨井尚志氏、(株)アイネット代表取締役社長・山本由佳里氏、(株)セントラルフーズ代表取締役社長・秋山裕一氏ら6名に2回ずつ講義をして頂く予定になっています。

(総務企画課)

Topic 6

犯罪被害者遺族の方の講演会

2015.7.3

7月3日(金)刑法Iの授業において、岡山県警

の後援により、少年事件でご令息を亡くされた市原千代子さんをお招きし、講演をしていただきました。一生懸命将来を模索していた息子

さんの命が奪われた無念さ、肝心なことを伝えてくれない報道のあり方、少年事件であるが故に、遺族であるにも関わらず加害少年の処遇や事件の内容等何も知らされず、自分たちの思いを酌み取ってもらえなかった当時の司法のあり方などを、丁寧に話頂きました。学生も熱心に聴講し、後日提出されたレポートには刑事司法への疑義のみならず、子供の教育問題に言及するものが多かったのが印象的でした。学生は社会における当事者としてこの問題を考え、また「命の尊さ」や「償い」についても考えることが出来たのではないかと思います。

(法学部 准教授 加藤摩耶)



Topic 7

大学コンソーシアム岡山 エコナイト

2015.7.5

平成27年7月5日(日)、大学コンソーシアム岡山主催のエコナイトに参加しました。これまで岡山駅東口広場で開催していましたが、毎年、雨天の恐れがある為、本年度は初めて岡山市北区奉還町にある奉還町商店街で開催しました。

本学からは、学生約23名が参加し、毎年行っているアヒル農法の展示に加え、リユース品を商品にした射的を行いました。商店街を訪れた家族連れが足を止め、学生からアヒル農法の説明を受けながら、アヒルの雛をやさしく撫でていました。また、射的は特に人気で、子どもたちが慣れない鉄砲を握りしめ、的を一生懸命狙っていました。

(産学官連携センター)

Topic 8

総社市でのキッズマネー教室について

2015.8.7

2015年8月7日、吉備信用金庫(総社市中央2丁目)、総社市、まちづくり実行委員会などが「地域における子育て支援」事業を開催し、本学からもボランティアとして21名の学生が参加しました。

本学では2009年から児童向け金融経済の教材制作と夏休みや冬休みの代表的なイベントを疑似体験させパーソナルファイナンス・リテラシーを育てる「キッズマネー教室」ゲームを推進しており、「金銭管理や購買選択、価値観」の基礎知識を効果的に学習でき、児童にも理解しやすい能動的技法として評価を得ています。

ネット依存や携帯アプリを利用したコミュニティサイトの被害やいじめ問題を不安視する声、家族の「経験や知識、アイデンティティの継承」、「コミュニケーション不足」の解消ツールへの応用を期待する保護者もあり、今後も「汎用性」や「簡易性」を意識しながら機能向上を図っていきたいと考えています。

(経営学部 准教授 高林宏一)

岡山商科大学創立50周年事業

創立50周年記念式典・祝賀会の挙行について

2015.5.23

2015年5月23日(土)岡山ブラザホテルに於いて、岡山商科大学創立50周年記念式典を日本私立大学協会、政財界、行政機関、他大学、本学卒業生、教職員約460名の参加をいただき、学長式辞、経過報告、ご来賓祝辞、学内外の功労者への感謝状贈呈を荘厳に執り行いました。引き続き祝賀会ではご来賓祝辞、鏡開き、乾杯、祝宴を盛大に執り行うことができ、ご参加、ご協力いただきました皆様に感謝申し上げます。

第2代目となる井尻昭夫学長の式辞では、日本社会の成長期から成熟期の50年間に培ってきた本学の歴史を、卒業生2万3千人、学内外の皆様のご支援の下、今後変化し続ける50年に向けてさらに発展させるために、弛ます努力し続けることが表明されました。

50周年記念事業に関しては、井尻昭夫学長の下に、教職員で構成する50周年記念式典事業部会(代表・大崎統一)、50周年記念誌編集事業部会(代表・岡本輝代志)、50周年記念事業部会(代表・田中潔)を中心にして、それぞれで実施計画を策定し、記念式典開催日を目的に計画を実施しました。記念誌は、記念式典で参加者全員に配布しました。また、50周年記念事業部会では、50周年キャンパスリニューアル案を(株)いるか設計集団に依頼し、現在実施設計の段階になっており、本年度から来年度にかけて大学の雰囲気が変わることになります。

同窓会では、過去50年間の系譜を一般の方々に展示するために、創設104年にある学校法人吉備学園の創設者井尻艶太氏、創立50年になる岡山商科大学初代学長井尻裕氏の井尻家に関する資料、大学に関する資料、昭和40年以降の教育に関する資料、卒業生の作品を展示する「創立50周年記念特別展示」を2015年5月19日(火)から24日(日)まで岡山天神山文化プラザで記念式典に合わせて開催しました。

(50周年記念式典事業部会代表 大崎統一)

「創立50周年記念特別展示」で伝えたいこと

於: 岡山天神山文化プラザ 2015.5.19~24

岡山商科大学も昭和40年4月に1期生160名を迎え、今年で半世紀が経過しました。私の学生時代、商大の知名度も低く、大学祭・部活等で、その存在感を地域に知らしめることを夢みて、みんなで頑張ってきた。今回の「創立50周年記念特別展示」は、学生達が何かをもっと大学に求め、彼らの目指す目標にチャレンジし、友達の輪を大きく広げて、楽しい学生生活を過ごして貰いたい願いと、また外部に向かっては、お金(企業)優先の社会に失われて行く文化(価値感と倫理感)とのアンバランスを、先人達が残した貴重な「こだわりの遺産」を展示し、それが何かのヒントになればと考えました。

展示会の評価は、「大学のオープンキャンパス」を外部で見るような見方の人もおられました。文化プラザの館長からは「普通の展示会より内容的に重みのある展示」と評価を頂きました。大学にとって創立50周年は大きな節目です。先人達の成果を見直し、これを無形の財産として、それに将来の成果を積み重ね、今後、皆さんで商大の良き伝統として構築して行きませんか。

最後となりましたが、今回の記念展示会には井尻昭夫学長、大崎統一副学長、三浦一男事務局長、同窓会展示委員等、多くの方々からご協力を賜り感謝申し上げます。

(岡山商科大学同窓会事務局・土師正樹(第1期生))

創立50周年記念岡山商大論叢について

岡山商大論叢の岡山商科大学50周年記念号を5月11日に発行することができました。本号は、執筆者数が11名、総ページ数が285頁となりました。会員のみなさまには、深く感謝申し上げます。また、編集に携わることができたことを大変に嬉しく思います。なお、本年よりインターネットのCiNiiにて、岡山商大論叢40巻1号から最新号までの12年分の本文が閲覧できるようになりました。

今年度の予定として、本年は学術講演会、岡山商大論叢第51巻第2号の発行が予定されています。来年は、学生懸賞論文、岡山商大論叢第51巻第3号、岡山商科大学法学論叢第24号の発行が予定されています。会員のみなさまの今後益々のご活躍をお祈りします。

(岡山商科大学学会運営委員 大東正虎・前田健一)

創立50周年記念誌発行を終えて

50周年記念事業の1つとして周年誌を作成するための編集部会が設けられました。教職員で構成された部会において、幾度となく議論を重ねた結果、学報を中心として50年を綴ることにまとまりました。創刊号は創立13年後の1978(昭和53年)であることから、不足期間については「30年史」などの他の資料を活用して編集することになりました。全105回の学報を何度となく読み返してみると、本学の歩みが手に取るように理解できました。学内外の皆様も、これを読むことによって、本学を理解し、心に残るものがあれば、編集委員としては幸いです。

(50周年記念誌編集事業部会代表 岡本輝代志)

Topic 9

保護者懇談会

2015.9.6

9月6日(日)岡山商科大学において、本学後援会との共催により、保護者懇談会を開催いたしました。個別面談、教育支援の現状説明、(株)シーズ代表取締役の平川清高氏(商学部1991年卒)を迎えてのキャリア講演会(「就活生を見守る親として」)など、多彩な内容となりました。その他、中国四国地区四会場においても、懇談会を開催し、多くの皆様に会場まで足をお運びいただきました。この場をお借りして御礼申し上げます。

(総務企画課)

Topic 10

商学科合同教養演習:
問題解決能力を身につけよう

初年次教育(FYE)という言葉が聞かれたことがあるでしょうか。アメリカの南方ロライナ大学で

始められた大学1年生のための大学生活への円滑な適応を目的としたプログラムです。商学科でも教養演習を中心にこの初年次教育を取り入れ、大学での学修に必須のアカデミックスキルズの獲得(文献要約、レポートを作成、プレゼンなど)とソーシャルスキルズの習得(社会生活での問題解決能力)を目指した授業を行っています。今年度前期には、6月に本学カウンセラーの王谷周子先生によるメンタルヘルス勉強会、また7月には学外から社会保険労務士の板谷誠一氏をお招きしてアルバイト勉強会を行いました。

メンタルヘルス勉強会では、心療内科医師の王谷先生から、睡眠の大切さなど基本的生活習慣の話や大学生活に不適応が生じた場合の対処法から、うつ病や強迫障害など医療機関での治療が必要な病気についてまで教えていただきました。

また、アルバイト勉強会では、アルバイトで問題を抱えている学生とこれからアルバイトをする学生のため、求人票や給料明細書の見方からはじめ、アルバイトのサービス残業や長時間労働の問題など、具体的問題の解決策をみんなで考え、その後、講師から労働者がどのように法律で保護されているのか詳しい説明を頂きました。

今後も、商学科では、学生が社会で直面する問題に対処できるよう学生のソーシャルスキルズ向上プログラムの提供を進めていきたいと考えています。

(経営学部 准教授 松浦英子)

Topic 11

吉備特殊器台(復刻制作)の展示

「特殊器台」とは、弥生時代後期後半に吉備で誕生し、当時の首長クラスの葬送儀礼に使用された土器で「埴輪」の起源といわれ、「古墳時代の始まり=大和王権の誕生」に「吉備」が少なからず関係した証拠の一つだと考えられています。

2012・2013年度に筆者が関わった「吉備特殊器台復刻プロジェクト」で制作された特殊器台・特殊壺(3セット)を、大学当局のご厚意により「本学創立50周年記念」の協賛と銘打ち、2015年3月2日から6月26日まで本学図書館の一角に展示し、公開活用がはかられたことに対し、関係者にお礼申し上げます。また、最終日の撤収には、本学学芸員課程の博物館実習授業(梱包の仕方)に取り込むことによって、これらの展示資料を教材として利用して授業の一環としても成果を上げることができた次第です。(経営学部 特任教授 柳瀬昭彦)



キッズビジネスパークin 岡山

2015.8.29

2015年8月29日（水）に、岡山市中区桑野にある岡山ふれあいセンターに於いて、「キッズビジネスパークin岡山」が開催され、本学学生32名と教職員が参加しました。

この事業は、公益社団法人岡山青年会議所などが主催し、本学や岡山県立岡山東商業高等学校などが協力して開催するもので、小学校3年生から6年生までの児童約400人が、食品製造業、歯科・薬局、新聞社、放送局、大工、警察・消防など40の企業・団体が出展するブースで様々な職業体験を行いました。参加する小学生はまず、ハローワークで希望の職業を選択し、各ブースで製造、販売やサービスなどの職業体験を行った後、所定の模擬通貨「ピーチ」を銀行で受け取り、さらに税務署で税金を納めた後に、「ピーチ」を利用して、飲食店などで消費活動を行いました。

本学の学生は何度かの事前の打ち合わせを経て、各ブースに店長として着任し、店員である高校生とともに、訪れた小学生にわかりやすく仕事の内容を説明しました。人気のブースでは、終日、行列が絶えないなど盛況の中、大学生らしいリーダーシップとこまやかな配慮により、トラブルも無くスムーズにイベントが進行し、出展関係者や主催者などから、高い評価を得ることができました。

（社会総合研究所 次長 海宝賢一郎）



エッセー
数珠つなぎ

「県民性」

法学部講師 加藤 友佳

私は岡山にくるまで、北海道、長野、静岡、東京と1都1道2県で生活してきました。一番長いのは生まれてから高校2年生までいた北海道、その次が大学院生活を過ごした東京ですが、北海道にいた頃、東京はテレビの世界で自分がそこで生活するなんて思ってもいませんでした。隙間なく並び建物。数センチの雪でストップする交通網。。

でも、一番苦労したのは長野での生活です。北海道と長野は何もかも違っていました。まずは、食べ物。長野は山の幸が豊かですが、やはり北海道で大好きだった海の幸が恋しくなりました。次に気候。本州では長野は避暑地のイメージかもしれませんが、北海道からするととても暑く、初めての夏は家族でダウン。意外だったのが冬の寒さです。北海道の寒さは厳しいですが屋内は暖かく快適だったので、長野の（本州の？）屋内の寒はこたえました。そして食べ物より、寒さよりハードルが高かったのが、県民性。

北海道は本州に比べて歴史が短く、厳しい自然で生きていくために細かいことは気にしない（その分口はキツイかもしれませんが）、自由でおおらかな人が多いです。代表的なイメージはやはり「北の国から」でしょうか。それに対して長野は、その地で生きてきた人たちが脈々と歴史を引き継いでいました。びっくりしたのは「家」に対する考え方。本家や分家があり、家族のつながりや地域愛が強く、歴史の教科書さながらと感じました。この点ハードルが低かったのが静岡です。新しいものを受け入れる風土があるようで、一様に明るく寛容な人が多かったです。東京は言わずもがな。

初めての西日本での生活はまだまだ未知数です。ただ、岡山は海の幸も山の幸も豊かで、気候も穏やか。さすがに夏の暑さは厳しいですが、それを癒してくれるジューシーなフルーツもたくさんあります。岡山の穏やかで優しい人たちに囲まれて、充実した日々をおくれそうです。

作家の視点

江戸川乱歩賞作家 石井敏弘
本学非常勤講師（第十七期商学部卒）

新しいPCを購入しました。Windowsではなく、初めてのMacです。

これまで使ってきたソフトやデータの関係上、Macの中にWindowsを入れて、両方を使うようになったのですが、とりあえず新しいものはよく出来ています。

ところが、これは人間側の問題なのですが、古いPCから様々なデータを移したり、使っているソフトをインストールしたりしていた時に、思っていたデータがどこにあるのかすぐにわからないということがありました。そうして昔のことを思い出しました。

若いころ、まだPCは世間に普及しておらず、私は作家活動のためにもいろいろな書物や新聞、雑誌、そんなものを山のように集めていました。いつか役に立つことがある、という考えで集めていたわけですが、その頃の自分の記憶力は大きかったので、乱雑に積まれたその山のどこに何があるかとか、かつて読んだ本のどのへんに望む情報が書いてあったとか、わりと覚えていたのです。

ところが今、様々なデータはPCの中へ。苦労して集めなくても、ネットを使えば必要な情報が得られることも多い。

そうして収集したデータが、たかがB4ほどのサイズのノートPCの中、あるいはバックアップした外部メモリの中に収まっているのを見つけれない。

人間の記憶というのは、肌の実感を伴う情報はすぐに思い出すが、実感の伴わない情報は埋もれたり忘却したりするわけです。単に新しい時代の情報整理が下手なだけという見方もあるでしょうが（笑）。

今も新しい記憶媒体が、次々に開発され続けています。そんなCMを見ていた時に、私よりもはるかにPC通の娘が言いました。

「もっとも信頼性が高い情報媒体って何だか知ってる？」「？……紙？」「そう。何千年も残ってきたという実績があるから」

なるほど。私がオールド・タイプというだけのことではないかもしれませんね。

Asia Report アジアレポート

孔子学院便り

孔子学院端午節交流会開催

中国の伝統祝日端午節の到来にあたり、孔子学院では中国伝統祝日にちなんだイベントが開催された。一般市民、在日華僑、留学生代表などの方々が、孔子学院一同と一緒に「端午節」の記念イベントに参加した。



今回のイベントのために、孔子学院スタッフ一同は、心を込めて準備をした。粽作りの材料をはじめ、手作りの中国粽の飾りや、ドラゴンボードや、中国結びなど、様々な中国独特な飾り物を作り、孔子学院を一新した。端午節のイベント会場は祝日のムードに包まれていた。イベント当日、中国の伝統の風習通り、新鮮なよもぎまですで飾った。スタッフ一同は来賓と一緒に粽を作り、出し物を鑑賞し、クイズに答え、中国のご馳走をいただいて、楽しい一時を過ごし

た。交流を通じ、互いの友情を深め、中国の優れた文化を広めることもできた。

6月20日イベント当日は、ちょうど旧暦の5月5日端午節当日であった。岡本学院長、葉師事務局長も参加した。イベント開始後、黎副学院長より来賓に端午節の歴史と文化伝統について説明をし、写真やビデオでより端午節の歴史と祝い方などを理解してもらった。その後、皆さんは興味津々で中国粽作りの体験に参加した。孔子学院は来賓にもち米、笹の葉、棗、ピーナツなど食材を準備し、先生とボランティア講師の指導の下、みんなで中国粽を作ってみた。イベント期間中、互いに交流をし、互いに学びあい、とても和やかな雰囲気だった。商大の大学生や孔子学院の生徒も演奏や中国語の歌を披露してくれた。端午節に関わる内容豊富で面白いクイズ大会によって、端午節交流会はより一層盛り上がり、五色糸結びはさらに中国に関する文化知識を広めた。

端午節の風習は日本に伝わってから、その祝う様式や内容にはかなりの変化が見られるが、季節の植物を使って厄払いをし、健康を祈るという点では一致している。今回の端午節のイベントは来賓に中国の祝日の雰囲気を味わえただけでなく、中国文化交流の源が深いことを実感していただいた。これからも積極的に孔子学院主催のイベントに参加するとの声もたくさんあった。当孔子学院もこれから引き続き努力をし、内容豊かな文化イベントを企画し、より多くの日本の方に中国を理解し、中国のことを好きになっていただけるよう努めていきたい。

(孔子学院 副学院長 肖爽)

「日本事情」課外授業 ～「坐禅・茶道」体験と「犬養木堂記念館」見学～

7月4日（土）薄曇りでやや陽射しの弱い早朝、私たち「日本事情」受講生を中心に中国、韓国、台湾からの留学生44名は先生たちと共に総勢51名で学園バスに乗って犬養木堂記念館を目指しました。

記念館の会場の玄関では、この日お世話になる茶道の先生とボランティアの方や坐禅の先生と記念館のスタッフの皆さんの温かい歓迎を受けました。皆さんが特別に準備して頂いた青い竹笹の枝に、自分たちの願いを込めて書いた短冊を思い思いに飾り付けると、その願いは叶うという七夕さまの珍しい日本民族祭りを体験しました。

早速、日本家屋の畳に座っての坐禅体験が始まりました。二人の坐禅先生により、坐禅の説明、坐禅から学ぶこと、人生で大切なことなどを教えてもらい、二つ折りにした座布団にあぐら座り（結跏趺坐、半跏趺坐）をして、呼吸を整え雑念を取り払いただ精神の集中につとめました。すると、今まで経験したことがない心静かな落ち着いた気持ちの中で、自分を見つめているもう一人の自分に気づきました。どれくらい時間が経ったか覚えていません。とても不思議な素晴らしい経験でした。

次に、茶室の準備をする時間帯に、犬養木堂記念館の副館長さんの案内で記念館の見学をしました。犬養元首相の功績について、資料、写真、書道など見ながら当時の日本と近隣諸国との交流や歴史を学び、平和の大切さを切実に認識させてくれました。全員で記念写真も撮りました。

すっかり準備ができた茶室でいよいよ茶道体験です。和服

姿の茶道先生とボランティアの皆さん全員によって、作法は厳しくも心温かい茶の湯の世界の体験です。お茶に愛情をもって、ひとりひとりに優しく手ほどきしてくれる日本人女性の心に触れ、本当に感動しました。厳しい茶道の作法と礼儀を通して、おもてなしの心、一期一会、和敬静寂、真の茶道の一部に触れ、日本文化の奥深さを学びました。

今回の課外授業では、私たち留学生のために大勢の方々いろいろな準備とご指導をして頂き有難うございました。岡山の皆さんの温かい思いやりと、坐禅・茶道体験は一生の思い出として大切にしたいと思います。

(岡山商科大学「日本事情」受講生 黄韋葵・胡明煒・李貞娥・朴有林)



キャリアセンター便り

新就活スケジュールスタート!! 現実とは・・・??

就職活動の後ろ倒しに伴い採用試験開始時期が4年生の4月から8月へ後ろ倒しされました。新制度移行1年目、予想したとおり4月ごろから中小企業を中心に採用試験が行われ、昨年に比べ数は少ないものの5月初めごろには内定を得る学生も出てきました。やはり、日本経済団体連合会加盟企業と金融機関以外の中小企業は早めに動いたという印象です。また、内定出しを済ませた企業は最終面接の場で「ここで就活を終わる意思を示せ」、「もう他社の採用試験は受けるな」、「我が社に絶対入社するのなら内定を出す」などの発言、示唆するような言動が見受けられました。つまり「オワハラ」行為が頻繁に行われたようです。優秀な人材を大手企業に取られたいとの中小企業の焦りを感じる就職活動前半戦でした。また、内定通知とともに送られてくる入社誓約書の対応についての問い合わせが多かったのも今年の特徴です。学生、保護者の方は心配されるかも知れませんが入社承諾書を既に提出していたとしても「内定辞退するにあたっての障害とはなりません。」内定という言葉・書面自体に法的拘束力がないとする考え方が定着しており、入社承諾書は内定者を拘束したいと考える企業側のお守りにしかすぎません。大学生の就職活動は複数の会社から内定をいただき「天秤にかけながら選択できる」人生最初で最後のピ

ックチャンスです。大いに就職活動を楽しんでください。ただし、長期に渡り複数の内定を持ち続けるのはルール違反。早めに1社に絞り込んでください。

2016年度新卒採用の中間振り返り

- ①採用活動繰り下げ初年度、予想したとおり経団連加盟企業と金融機関が順守した気配を感じるものの、経団連未加盟企業は3月スタートと同時に採用活動をスタートさせた。
- ②学生に履歴書、エントリーシート提出を求めた企業が4月末までに57%にも及んだ。
- ③企業が採用目的で企画した?インターンシップ(12~2月)の学生参加率が低調であった。
- ④面接の間隔を空け内定出しを8月まで引っ張ろうとした企業の採用試験辞退者が目立った。
- ⑤最終面接時の「オワハラ」行為が激増した。
- ⑥「2017年卒(現3年生)」については3月スタートが維持されるものの8月面接試験は今年以上に前倒しされることが予測される。

(キャリアセンター)

Information 情報アラカルト

津山まちなか健康サポート施設2号店 (飲食ゾーン) 整備調査事業について

本学は、津山市城南商店街の株式会社半鐘屋様から標記調査事業を受託しました。同商店街は健康・美容ゾーン計画を推進中で、2014年に健康サポート施設1号店(フィットネスクラブ)がオープンしましたが、2号店としてはとむぎ等体の内から健康を増進させる食材を用いた食事や会話等が楽しめるカフェ他の設置を目指しています。調査事業はそうした施設にニーズがあるのかを明らかにするのが主な目的で、4種類の調査を行いました。うち、商店街内の食品スーパー「youmeマート」来店客へのアンケートは、2015年2月の2日間、本学学生10名と包括協定を締結している津山商業高校生徒延べ40名が実施しました。学生・生徒たちにとっては、来店客にアンケートを依頼するという慣れない作業でしたが、目標とした200名を上回る回答を得ることができました。この結果は他の調査と共に報告書にまとめ、3月20日に事業委託者に提出しました。

(経営学部 教授 三好 宏)



学食メニューの提案について

2015年7月16日、学生食堂が開催する「ワンコインバイキング」で、学生が考案した「魚貝を使ったメニュー」が登場しました。昨年度、「岡山経営者論」にご登壇いただいた岡山中央魚市(株)の同前裕一朗氏による講義の中で、魚食離れが進む若者向けのメニューを提案する課題が出され、アクティブラーニング形式(能動的教育による問題解決型の講義)によるグループディスカッションを行い、グループごとに若者向けのメニューが発表されました。発表されたメニューから食堂関係者と検討し、学生発の学食メニューとして「シーフードカレー」が採用され、オープンキャンパスの学食体験でも提供されました。

(経営学部 准教授 渡邊憲二)

平成26年度計算書(岡山商科大学収支内訳表)

資金収支内訳表

(単位:千円)

収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	1,600,780	1,428,267	172,513
手数料収入	15,092	19,717	△ 4,625
寄付金収入	13,300	12,711	589
補助金収入	109,811	133,603	△ 23,792
国庫補助金収入	109,704	133,518	△ 23,814
地方公共団体補助金収入	107	85	22
資産運用収入	4,040	4,917	△ 877
資産売却収入	0	27	△ 27
事業収入	53,814	61,147	△ 7,333
雑収入	29,912	57,627	△ 27,715
収入の部合計	1,826,749	1,718,016	108,733
支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	1,017,151	1,006,585	10,566
教育研究経費支出	504,844	483,867	20,977
管理経費支出	116,577	124,757	△ 8,180
借入金等利息支出	891	891	0
借入金等返済支出	10,800	10,800	0
施設関係支出	380,822	333,306	47,516
設備関係支出	76,717	73,534	3,183
支出の部合計	2,107,802	2,033,740	74,062

消費収支内訳表

(単位:千円)

消費収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金	1,600,780	1,428,267	172,513
手数料	15,092	19,717	△ 4,625
寄付金	13,300	12,711	589
補助金	109,811	133,603	△ 23,792
国庫補助金	109,704	133,518	△ 23,814
地方公共団体補助金	107	85	22
資産運用収入	4,040	4,917	△ 877
資産売却差額	0	27	△ 27
事業収入	53,814	61,147	△ 7,333
雑収入	29,912	57,627	△ 27,715
帰属収入合計	1,826,749	1,718,016	108,733
基本金組入額合計	△ 97,208	△ 1,078	△ 96,130
消費収入の部合計	1,729,541	1,716,938	12,603
消費支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費	1,013,128	1,002,603	10,525
教育研究経費	639,708	615,600	24,108
管理経費	152,626	157,897	△ 5,271
借入金等利息	891	891	0
資産処分差額	34,509	35,801	△ 1,292
消費支出の部合計	1,840,862	1,812,792	28,070

誌面の都合により千円未満の単位を省略しています。

人事異動

種別	役職等	氏名	所属	日付
退職	大学院特任教授	鳥越良光	商学研究科	3月31日
	教授	西中恒和	経営学科	
	招へい教授	盛 凱	商学科	
	講師	渡辺 渡	法学科	
	准教授	小浦美保	法学科	
	事務職員	相澤泰憲	総務企画課	
	事務職員	小倉由希子	総務企画課	
	嘱託職員(技能員)	佐藤 要	総務企画課	
採用	嘱託職員	木下恭典	学生課	4月1日
	教授	田中康秀	経済学科	
	教授	佐藤豊信	経済学科	
	教授	伴 恒信	経営学科	
	准教授	白井 諭	法学科	
	准教授	貫輪弘嗣	経営学科	
	准教授	田村直樹	商学科	
	招へい教授	肖 爽	商学科	
	講師	樋上 潔	法学科	
	課長	阿部敏昭	学生課	
	事務職員	李 想	学生課	
	事務職員	石田和也	教務課	
	技能員	西谷 諭	総務企画課	
	嘱託職員(技能員)	森 博幸	総務企画課	
昇任	准教授	横澤幸宏	経営学科	
	参与	薬師寺祐介	事務局	
	参与	安井 聡	キャリアセンター	
	参与	荻野素也	事務局	
	参事	王前美重	法人事務局	

種別	役職等	氏名	所属	日付
異動	課長補佐	横田純一	入試課	4月1日
	課長補佐	岡部泰正	キャリアセンター課	
	課長補佐	太田尚宏	総務企画課	
	主任	菊川 頌	図書課	
	課長	甲斐裕昌	入試課	
	事務職員	山崎温子	総務企画課	
	学長	井尻昭夫	経営学科	
	副学長、図書館長、産学官連携センター長、社会総合研究所長	大崎紘一	経営学科	
再任	商学科長	坂下 晃	商学科	4月1日
	留学生別科長	岸本雅之	経営学科	
	学生活動支援センター長	岸田芳朗	商学科	
	社会総合研究所次長	海宝賢一郎	商学科	
	法学教育センター長	伊藤治彦	法学科	
	法学部長・学科長	伊藤治彦	法学科	
	経済学部長・学科長	田中勝次	経済学科	
	経営学部長・学科長	長田貴仁	経営学科	
	法学研究科長	西浦 公	法学科	
	経済学研究科長	三谷直紀	経済学科	
新任	商学研究科長	天野雅敏	商学科	4月1日
	入試部長	山本二郎	経済学科	
	入試部次長	砂川和泉	法学科	
	招へい講師	賀 耀 明	商学科	
	教授	宮 偉	経済学科	
退職	招へい講師	王 曼 柳	商学科	8月31日
	招へい講師	徐 爽	商学科	9月17日

(総務企画課)

科学研究費助成事業への取り組み

科学研究費助成事業(科研費)とは、研究者の学術振興を図るため、人文・社会科学から自然科学分野まで、あらゆる分野における独創的、先駆的研究の発展を目的とする文部科学省による研究助成費です。本学からも、毎年多数の研究者が申請を行っており、平成27年度では以下のテーマで研究費の交付を受けています。

研究種目・期間	研究課題	研究者(所属)
基盤研究(A) [研究分担者] H23～27	日本企業のコラボレーションとイノベーション：新製品開発のダイナミクス	川合 一央 (経営学部・講師)
萌芽研究 [研究代表者] H24～27	戦後日本企業と技術的知識に関する実証研究	川合 一央 (経営学部・講師)
若手研究(B) [研究代表者] H25～27	犯罪捜査における検察官の役割と倫理	白井 諭 (法学部・准教授)
基盤研究(B) [研究分担者] H25～27	科学技術政策と産業クラスターの存続に関する国際比較研究：企業家再生産と産官学連携	于 琳 (経営学部・准教授)
基盤研究(A) [研究分担者] H25～28	イギリスの公法改革における普遍性と固有性の相互関係再編に関する総合的比較法研究	伊藤 治彦 (法学部・教授)
基盤研究(C) [研究代表者] H26～28	学歴と賃金構造の国際比較	三谷 直紀 (経済学部・教授)
基盤研究(C) [研究代表者] H26～28	民主主義理念と次世代市民の道徳性育成の歴史的展開と将来像に関する研究	伴 恒信 (経営学部・教授)
基盤研究(C) [研究代表者] H26～29	商業における老舗の競争優位に関する地域間比較研究	田村 直樹 (経営学部・准教授)
基盤研究(C) [研究代表者] H27～29	価値合理性の復権—とくに新カント学派の規範概念を中心に	九鬼 一人 (法学部・教授)
基盤研究(C) [研究分担者] H27～29	中学生の批判的思考力を育成する社会科授業開発に関する発達の研究	前田 健一 (経済学部・教授)

(総務企画課)

第50回商大祭

第50回商大祭が10月24日(土)・25日(日)の二日間の日程で開催されます。

今年のテーマは「響～50回目の感謝、感動、時々感泣～」です。たくさんの思いを込められた商大祭も今年で50回目を迎えます。そんな商大祭という響をこれからも繋いでいってほしいという願いを込めました。

期間中は、多彩なステージ企画、バラエティに富んだ模擬店の出店、展示等内容盛り沢山です。なお、体育館でもプロコンサートや、トークショーを開催します。皆様のご来場をお待ちしております。

【体育館ステージ出演者】

10月24日(土) ☆プロコンサート☆
・かりゆし58

10月25日(日) トークショー

・玉木宏

【野外ステージ無料ライブ】

10月25日(日)

・山猿

第62回中四国学生剣道優勝大会 剣道部主将 小坂 力が優秀選手賞受賞



第62回中四国学生剣道大会(2015.9.6岡山市)へ本学剣道部が出場し、団体戦予選リーグでは残念ながら敗退するものの、個人に贈られる優秀選手賞に剣道部主将小坂力さん(三段・商学科2年生)が選ばれました。この優秀賞は全出場選手から10名しか選ばれない賞で、新生剣道部にとっては、スタート2年目での快挙となります。(剣道部)

日本学生陸上で準優勝! 中四国学生新記録!

2015.6.12

日本学生陸上競技個人選手権走高跳(2015.6.12～14 神奈川)において、経営学部4年で本学陸上競技部に所属する石橋健さんが中四国学生新記録(2m20)を跳び、準優勝しました。

石橋さんからは「応援ありがとうございました。この結果に満足することなく、日々精進努力して頑張っていきたいと思います。」との声が寄せられています。(学生課)



2016年度入試日程

AO入試

全学部 エントリー期間：2015年7月1日(水)～2016年2月5日(金) 試験会場：本学
「岡山商科大学で学びたい」そんな君たちからのエントリーをお待ちしています。

入試課：TEL 086-256-6652

推薦入試

試験区分			学 部	出願期間	試験日	合格発表	試験会場
指 定 校 推 薦			全学部	9月14日(月)～10月 9日(金)	10月17日(土)	10月23日(金)	本 学・沖 縄
専門能力推薦	前 期 日 程			9月14日(月)～10月 9日(金)	10月18日(日)	10月23日(金)	本 学
	後 期 日 程			2月 1日(月)～ 2月19日(金)	2月26日(金)	3月 4日(金)	
一般公募制推薦	前期	A日程		10月13日(火)～11月 6日(金)	11月14日(土)	11月20日(金)	下記前期AB日程 試験会場参照
		B日程			11月15日(日)		
	後 期 日 程			11月16日(月)～12月 4日(金)	12月12日(土)	12月18日(金)	本 学

〔一般公募制推薦入試 前期A・B日程 試験会場〕 本学、大阪、広島、福山、松江、高松、松山、高知、小倉

一般入試

前期	A日程	全学部	1月 4日(月)～ 1月29日(金)	2月 6日(土)	2月12日(金)	下記前期AB日程 試験会場参照
	B日程			2月 7日(日)		
中期日程			2月 1日(月)～ 2月19日(金)	2月26日(金)	3月 4日(金)	本 学
後期日程			2月22日(月)～ 3月 4日(金)	3月10日(木)	3月18日(金)	本 学

〔一般入試 前期A・B日程 試験会場〕 本学、大阪、広島、福山、松江、高松、松山、高知、小倉

大学入試 センター試験 利用入試

前期日程	全学部	1月 4日(月)～ 1月29日(金)	個別試験は課さない	2月12日(金)
中期日程		2月 8日(月)～ 2月25日(木)		3月 4日(金)
後期日程		3月 1日(火)～ 3月10日(木)		3月18日(金)

(入試課)

防災用品の備蓄を行っています 2015年4月～

平成26年5月に岡山市との間で「災害時における避難所の指定等に関する協定」を締結しました。災害時には大学施設の一部を避難場所として提供するなど、協力を行います。

そのことを受け、本年度から、災害時に必要とされる防災用品として、非常用トイレ、長期保存水、アルミブランケットの備蓄を始めました。5カ年計画で、学生・教職員・近隣住民約150名が、ライフラインの復旧に要するとされる2～3日の間過ごせる数量を揃えていきます。

(総務企画課)



慶應MCC タ学サテライト 2015年度後期 開催予定

- 開催時間 18:30～20:30(開場18:00)
- 会 場 岡山商科大学 7号館781教室
- 受 講 料 パスポート券(15回)10,000円
受講券(1回)1,200円

10月2日(金) <戦略と技術が拓く近未来>

川村 隆 (かわむら たかし)

株式会社日立製作所 相談役

「ラストマンの生き方」

◎講演60分、質疑応答60分の構成です。

10月14日(水) <気鋭の論客に聞く>

為末 大 (ためすえ だい)

「禅とハードル」

10月16日(金) <信頼と共感の経営>

坂下 玄哲 (さかした もとたか)

慶應義塾大学大学院経営管理研究科 准教授

「消費者行動とブランド・マネジメント」

10月21日(水) <気鋭の論客に聞く>

大竹 文雄 (おおたけ ふみお)

大阪大学社会経済研究所 教授

「経済学的思考法」

10月30日(金) <信頼と共感の経営>

西條 剛央 (さいじょう たけお)

早稲田大学大学院商学研究科MBAコース 客員准教授

「チームの力を活かす組織論

～良い組織作りのための実践的視座～」

11月2日(月) <信頼と共感の経営>

清宮 克幸 (きよみや かつゆき)

ラグビートップリーグヤマハ発動機ジュビロ 監督

「有言実行」

11月10日(火) <気鋭の論客に聞く>

宮本 雄二 (みやもと ゆうじ)

宮本アジア研究所 代表、元駐中国特命全権大使

「習近平の中国」

11月11日(水) <戦略と技術が拓く近未来>

尾山 基 (おやま もとい)

株式会社アシックス 代表取締役社長CEO

「アシックスのグローバル戦略」

11月18日(水) <見えない世界に挑む>

高田 礼人 (たかだ らいと)

北海道大学人獣共通感染症リサーチセンター 教授

「ウイルスはどうやって生き残っているのか」

11月26日(木) <気鋭の論客に聞く>

野田 稔 (のだ みのも)

一般社団法人 社会人材学舎 塾長、

明治大学大学院グローバルビジネス研究科 教授

「組織人材から“社会人材”へ」

12月3日(木) <文化と歴史で世界を読み解く>

・都倉 武之 (とくら たけゆき)

慶應義塾福澤研究センター 准教授

・特攻を経験された方を含む元学徒兵の方々

「戦後70年、『学生と戦争』を考える」

◎対談形式で行います。

12月15日(火) <見えない世界に挑む>

榎本 英剛 (えのもと ひでたけ)

よく生きる研究所 代表

「自分も世界も幸せにする生き方」

12月17日(木) <文化と歴史で世界を読み解く>

前野 隆司 (まえの たかし)

慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科 教授

「幸せの日本論

～日本の個人と企業はいかにあるべきか」

1月14日(木) <日本のソフトパワー>

春風亭 一之輔 (しゅんぷうてい いちのすけ)

落語家

「落語のちから」

※落語一席を交えた90分と質疑応答30分の構成です。

1月26日(火) <戦略と技術が拓く近未来>

三品 和広 (みしな かずひろ)

神戸大学大学院経営学研究科 教授

「高収益事業の創り方」

■お問合せ先

●岡山商科大学社会総合研究所
〒700-8601 岡山市北区津島京町2-10-1
TEL086-256-6656

●岡山商工会議所 総務・企画部
〒700-8556 岡山市北区厚生町3-1-15
TEL086-232-2262

*正式なご案内は9月初旬を予定しております。

(社会総合研究所)